



新宿小だより

児童数 561名

令和8年9月号

学校教育目標

やさしく

かしこく

たくましく

いい顔をして、たくさんの挑戦を

校長 横田 亜希子

長い夏休みが終わり、子供たちの元気な姿と笑顔が学校に戻ってきました。夏休み前半は「暑い」というよりは「熱い」日が続き、校庭は早朝や夕方に保護者の方と一緒にサッカーやキャッチボールをしに来る子供たちがいるだけで、日中はがらんとしている日がほとんどでした。暑さから命を守るため、インターハイの陸上競技が夜間開催されるなど、これからは気候変動に伴い、私たちの生活様式も徐々に変化していくのでしょうか。また熊本地震や千葉豪雨では、自然災害の恐ろしさと日頃の備えの大切さを、改めて考えさせられました。私たち教職員も夏季休業中に救助袋、避難訓練、防災教育と命を守る研修を重点的に行ったところです。2学期も安心と安全を第一に教育活動を行ってまいります。

さて、この夏、甲子園で行われた全国高校野球選手権大会での「高校球児は、いい顔をして野球をしよう」という選手宣誓は簡潔な表現だからこそ印象深いものでした。事実、真剣にプレーしている顔、仲間と励まし合う顔、悔しくて涙する顔。精一杯生きているからこそ生まれる「いい顔」は見ている私たちを感動させるものでした。新宿小学校もいい顔をして学校生活を送ることのできる場所であってほしいと願います。勉強が分かったときの顔、友達と力を合わせて成し遂げたときの顔、思うようにいかず悔しがる顔、それでもあきらめずにもう一度挑戦する顔、友達に「ありがとう」と言われちょっと照れくさそうな顔。そのどれもが、子供たちが懸命に生きている証です。

2学期は学習内容が深くなるだけでなく、音楽会や校外学習など、子供たちが仲間と関わり合いながら挑戦する機会がたくさんあります。もちろん、うまくいかなかったり、友達と意見が合わなかったり、思うような結果が出なかったりすることもあるでしょう。子供たちには失敗を恐れず、その時、その時を精一杯生きて、一人一人が自分らしい「いい顔」でたくさんの挑戦をしてほしいと思います。2学期も保護者の皆様、地域の皆様には子供たちの成長を見守っていただけますよう、お願いいたします。

久しぶりの学校生活が始まります。大人でも休み明けは少し心が重くなることもあるように、子供たちも「朝起きるのがちょっと辛いな」「なんだか疲れたな」と感じる日があって当然です。まずは焦らず、無理のないペースで、学校の日常に馴染んでいけるよう、ゆっくりと歩調を合わせていきたいと考えています。学校と家庭は、子供の成長と一緒に喜び合うチームです。気になることがあれば、いつでも気軽にご連絡ください。